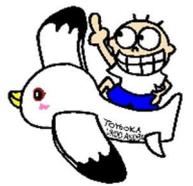




ぴょんぴょん

VOL.5



長かった冬も終わり、ようやく春らしい日差しを感じられるようになりました。
先生方におかれましては、年度末となり多忙な日々をお過ごしのことと思います。
今年度も、大変お忙しい中、運動遊び事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございました。
来年度も、引き続きよろしくお願ひいたします。

友だちや監督の言葉（行動）が心の居場所を教えてくれた！

私は、小学3年生からサッカーを始めました。
とにかく「上手になりたい！」「誰にも負けたくない！」という気持ちで2つ年上の兄や友人と毎日公園で練習する日々を過ごしていました。
小学5年生の時の話です。たまたま運よく兵庫県選抜に選出され、今まで兄や友人に全く歯がたたなかった私もようやく練習が報われた！と、本当に嬉しい気持ちでいっぱいになりました。しかし、喜びも束の間、但馬から選出されたのは、まさかの私1人。小心者の私は「どうしよう不安だ、誰も知ってる友だちがいない、そんな場所に絶対に行きたくない。」と強く思いました。すると、いつも一緒にふざけていた友だちが「めっちゃええやん！お前だけ羨ましいわ！」と笑顔で声をかけてくれました。本来なら喜んでいるはずの私の表情が浮かなかったことを察したのか友だちなりに励ましてくれた瞬間でした。その直後、監督が「こいつ胴上げしちゃうっか！」とチーム全員（中には悔しい思いをしていた友だちもいたと思います）が祝福してくれました。
その時に感じたことは、私が不安な時でもチームのみんなが応援してくれているという温かい気持ちを感じたことと、一人じゃないんだ！自分の居場所がある！という安心感をもつことができたことで、私は前向きに自信をもって挑戦することができました。
いつもふざけているだけの友だち、厳しく指導するだけの監督と思っていた自分を今振り返ると情けなく思います。
そして、私の表情や考えていることを瞬時に気づき、温かい言葉や行動で励ましてくれたのだなと改めて感謝しています。
今後、私も巡回訪問を行う中で、子どもの表情や姿から気持ちをくみ取り、みんなが前向きになれるように温かい言葉をかけながら、誰もが体を動かすことが好き！と思えるような取組を続けていきたいと思ひます。
今年度の先生方の日々の取組に心から敬意を表しますとともに、毎回、多くのことを勉強させていただきましたこと心より感謝いたします。
また、至らない点が多々あり、先生方にはご迷惑をおかけしましたが、いつも温かいお声がけをいただき、ありがとうございました。
1年間大変お世話になりました。今後ともよろしくお願ひいたします。

山内 夢斗哉

今年度も大変お世話になりました。たくさんの子供達の成長の一コマに関わることができ、とても幸せです。巡回訪問で子供達が運動遊びに前向きな気持ちで参加してくれたのは、心を満たす保育をされている先生方のおかげです。

さて、5歳児最後の運動遊び巡回訪問で、長縄を跳びながら質問に答える、という遊びを行いました。その時、私が楽しみにしていたのが、子供達の将来の夢を聞くことです。多くの子供達が、なりたい職業や、やりたいことを教えてください。中には、「うーん…」と考え込み、縄を跳び続ける子もいますが、けして消極的な気持ちではなく、ワクワクすることから一つを選べないことが伝わってきました。好きなことがある、楽しいことを知っている、素直に喜ぶことができる、といった子供らしさこそ、「生きる力」の土台になるのだと思ひます。運動遊びを通してそんな子供達の明るい未来が感じられ、嬉しく思ひます。

また、このような基本の力を発展させた様々な挑戦が楽しめるのは、先生方の日々の取組みが着実に子供達の力を育てている証です。設定保育や定期的取組などでたくさんのお話を学ばせていただき、本当にありがとうございました。

来年度も益々充実した運動遊び事業を目指し取組んでいきたいと思ひます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

上野 真希